

職員による自己評価

A環境面

スペースや職員配置数に関しては問題なくクリアできている。
3階に位置し大きな窓があるが、児童が誤って開けることにより転落などの事故が起きない様、安全装置を取り付けることによりリスクは軽減できている。

B業務改善

初めての自己評価となる今回、保護者の意向や職員の意見などを参考に業務改善につなげていくと共に、HPで公開していく。

C適切な支援の提供

職員間で当日の児童について打ち合わせをし、一人ひとりにあった支援を集団で行うにはどのようにすべきか検討している。

D関係機関や保護者との連携

就学前の保育所や現在通っている学校との連携を取りたいと考え、保護者了承の上対象校に連絡をしても『個人情報保護』に基づく拒否と、多忙中を理由に連携は取れていない。

研修に関しては、職員の中でできる限り参加する

E保護者への説明責任等

入会申込時に全般の説明を行うと共に、文書を渡している。
父母の会などについては、ほとんどの保護者が他者との繋がりを希望しないため、開催していない。

F非常時等の対応

避難訓練などは年2回行う予定としており、全児童が一度は参加できるよう調整している。

おやつ等の提供はないため、食物アレルギー等の聴取はしていないが、今後必要となると思われる。

保護者による評価

A環境・体制整備

定員 10 名であれば活動スペース、職員数は足りていると思われるが、小児発達に関して専門性があるかということとはわからない。

B適切な支援の提供

勉強にもう少し力を入れてくれてもいいのかなとは思いますが、ニーズや課題が分析された計画は作成されていると感じられる。

C保護者への説明等

支援の内容や利用者負担などについては丁寧な説明が行われており、特に苦情はない。

HP の更新をもう少し頻繁に行い、全体的な活動プログラムを紹介してほしいと思うが、Line でのやり取りでいつでも連絡が取れるのでとてもいいと思います。

D非常時等の対応

非常時の対応などについて説明を受けたかもしれないが、あまり印象に残っていない。

E満足度

通所日はいつもより早く学校から帰ってきて、素早く準備しています。

事業所内での分析

【共通点】

- ・ 支援の内容などの説明については回答者すべてが「なされている」と回答。
- ・ 児童や保護者との意思の疎通、情報伝達はなされている。

【相違点】

- ・ 非常災害時の発生に備えた訓練については年2回開催しているが、前回開催時に入所していない児童がほとんどのため、行っていないと思われる様子。(入会申込時に説明はしているも・・・)
- ・ 保護者より、各種マニュアルについての説明が「されたかもしれないが印象に残っていない」との回答あり。
- ・ 活動スペースが十分に確保されているかどうかは『どちらともいえない』という回答がやや多め。
- ・ HP における全体的な活動プログラムの紹介が欲しいという意見があった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・窓が大きく室内が明るい。
- ・窓の高さと線路の高さが一緒で、駅から近いこともあり走っている電車が見やすくなっている。
- ・交通の便の良さから、慣れてくると送迎がなくとも児童のみで通所することが可能で、自立支援と社会参加の意義が果たしやすくなっている。
- ・事業所と家庭の意思疎通が Line などを使用することにより、簡単に取れるようになっている。

事業所の改善点

- ・マニュアルについて
保護者の初回面談で説明と共に渡しているが、何ヵ月か経ってしまうと覚えているのではなく、重要事項説明書の中に埋もれてしまう形となってしまうため詳細化したものを改めて作成し、周知徹底する。
- ・HP の更新について
月に1回程度は更新し、オレンジスクール全体でどのような事が行われているのか確認できるようにする。

事業所の改善への取り組み

- ・マニュアル（特に非常時の対応について）を詳細化したものを別紙で作成し、利用申込面談時に重要事項説明書と共に説明した後、保護者に配布する事とする。
- ・HP は未利用の保護者などへオレンジスクールを周知してもらえるページと考えているため、月に1回程度の更新の中で、トップページに新着情報などを掲載していく事とする。
既に利用されている保護者などに対しては、ブログにて活動プログラムを周知してもらえるようHPと同様に月に1回程度の更新を行う。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者の方々からの評価に関しては思いのほか良い評価をいただきとてもありがたいお話と、スタッフ一同感謝しております。しかしその中でも『小児発達に関して専門性があるかはわかりません。』というご意見もいただいているのが現状です。今後も研修等を活用し、一人ひとりの児童に沿った専門性のある支援をしていかなければと再度、気を引き締める機会を頂けたと思えました。

意思の疎通や情報伝達のための配備に関しましては全回答者の方から『はい』という回答をいただいておりますが、HPなどでの情報伝達も求められているという事を知り細部にわたり情報の提供が必要であるという事を痛感いたしました。